

発 言 通 告 書

令和4年9月6日

松山市議会議長 渡部克彦 殿

松山市議会議員 田中エリナ

次のとおり通告します。

発言順位	8	受領日時	9月 6日 午前 11時 55分	2 枚中 1 枚目
質問等の方式	一問一答方式		一括方式	発言時間 約 70 分
答弁を求める者	・市長	・教育長	・選挙管理委員会委員長	・公平委員会委員長
	・農業委員会会長	・監査委員	・公営企業管理者	

No.	件 名	発 言 の 要 旨
1	都市ブランディングについて	<p>(1) 市外・県外への松山のプロモーションをより時代に合ったものとするため、平成25年に策定された松山市都市ブランド戦略プランを見直す考えはないか。</p> <p>(2) 松山市民へ松山の情報を適切に漏れなく届ける広報活動と市外・県外へ松山の魅力を伝えるための宣伝活動を効率的に行うための現在の仕組みの改善の必要性について問う。</p> <p>(3) 本市のWEBサイト、公式LINE、Instagram及びYouTube運営について今後どのように活用していくのか。具体策を問う。</p>
2	DX推進について	<p>(1) 本市のDX推進を目的にCIO(最高情報責任者)やCDO(最高デジタル責任者)を民間から採用する考えはないか。</p> <p>(2) データアナリストなどに代表される時代に合った専門性を有する人材育成のため、民間への職員の派遣を増やす考えはないか。</p> <p>(3) 本市のオンライン申請における個人情報の入力システムの今後の改善計画を問う。</p> <p>(4) 子育てに関する行政手続のオンライン化についてどのようなタイムスケジュールで進めていくのか。本市の取組について問う。</p>
3	女性活躍について	<p>(1) 本年4月に男女共同参画会議において女性デジタル人材育成プランが決定されたが、それを受けて本市ではどのように取り組むのか。</p> <p>(2) ひとり親家庭の親に対する能力向上のための支援施策や就業機会の創出支援において、デジタルマーケットへの流入を加速させる取組を検討する考えはないか。</p> <p>(3) ひとり親家庭への支援施策に関する市民への周知・啓発の現状を問う。</p>

